

Christoph Prégardien Andreas Staier

クリストフ・プレガルディエン(テノール) &
アンドレアス・シュタイアー(フォルテピアノ)

Franz Schubert: Schwanengesang

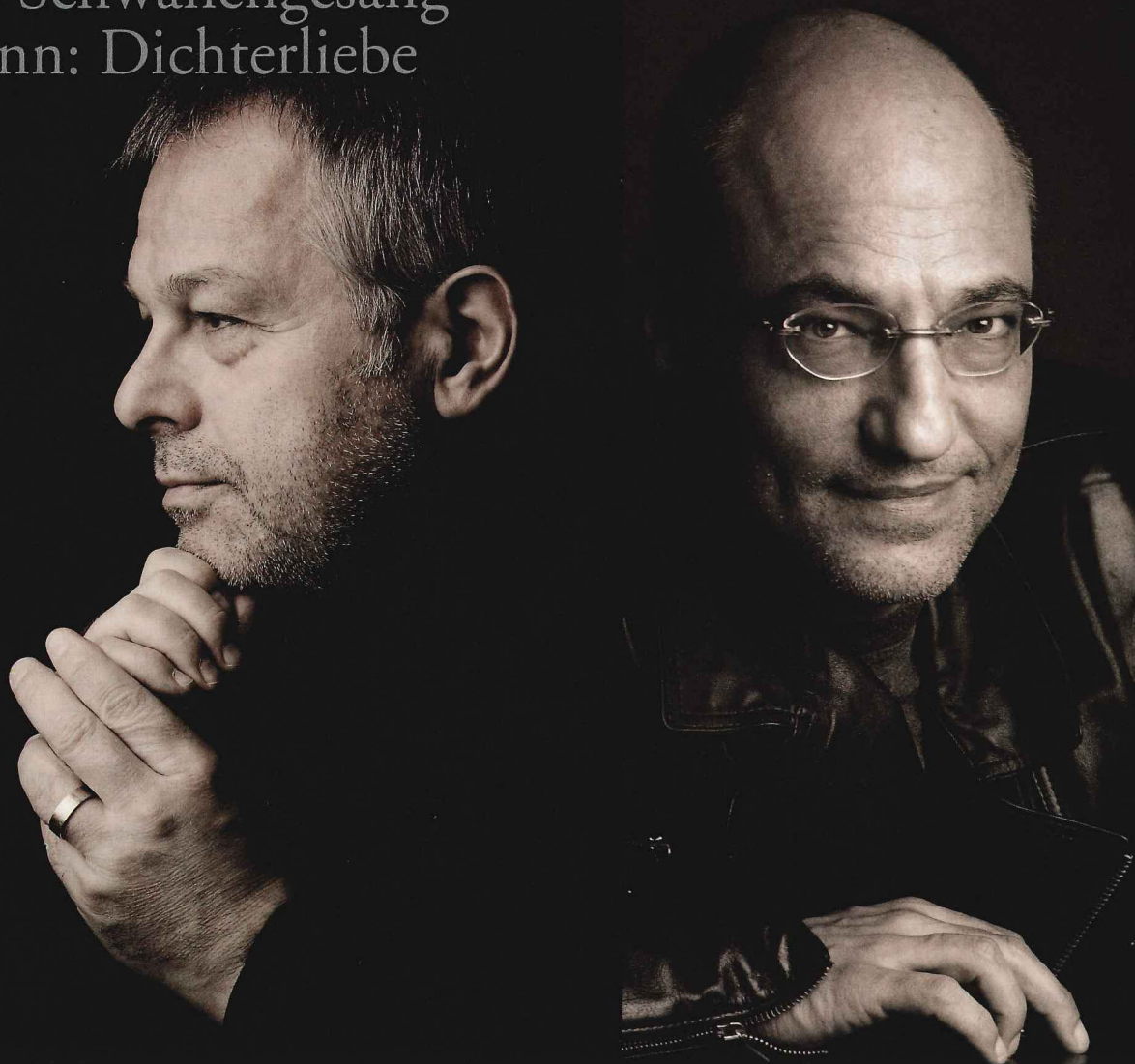
Robert Schumann: Dichterliebe

シューベルト

「白鳥の歌」

シューマン

「詩人の恋」



2011. 2月20日(日) 15:00

Sunday, 20 February, 2011 at 15:00

神奈川県立音楽堂

Kanagawa Kenritsu Ongakudo

S・¥5,000 / A・¥4,000 / B・¥3,000

©チケットお取扱い

東京アーティストズ

03-3440-7571 <http://tokyoartists.jimdo.com/>

カジモト・イープラス

0570-06-9960 <http://kajimotoeplus.com/>

チケットかながわ

045-662-8866 <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

カンフェティ

0120-240-540 <http://www.confetti-web.com/>

東京芸術劇場チケットサービス

03-5985-1707 <http://www.e-get.jp/tgg-ts/pt/>

主催: 東京アーティストズ / KAJIMOTO

共催: 神奈川県立音楽堂

10余年を経て再びめぐり逢う“ピロードの声”と“静かな天才”による至福のとき

1990年代、デュオとして数々の公演を行なって来たプレガルディエンとシュタイアー。しばらくの時を経て、再び彼らが交わるその先には何が聴こえて来るのでしょうか。新しくて古い、古くて新しい、響き。生まれたその時の、まだ誰も耳にしていない音楽を体感する喜び。

時代を遡って探し当て、いまのわたしたちの目の前にまたその喜びを連れて来てくれる、そんなあたたかみが彼らの音楽にはあります。

今回の彼らの音楽を包むもうひとつの楽器は“木のホール”。1954年、公立施設としては日本で初めての音楽専用ホールとして開館。

ロンドンのロイヤルフェスティバルホールをモデルに、東京文化会館も手がけた前川國男氏により設計されました。

「白鳥の歌」「詩人の恋」はリート・ファン垂涎の組合せ。壁面すべてが木で作られている神奈川県立音楽堂ならではの、

どこか懐かしいあたたかな響きのなかで、当時の興奮を静かに味わうことが出来るのではないのでしょうか。

シューマン

5つの歌曲 op.40 5 Lieder
(H.C. Andersen / A.v. Chamisso)

Märzveilchen においすみれ

Muttertraum 母親の夢

Der Soldat 兵士

Der Spielmann 楽師

Verrätene Liebe 裏切られた恋

ロマンスとバラード第1集 op.45

Romanzen und Balladen Heft 1

Der Schätzgräber 宝捜しの男(J.v. Eichendorff)

Frühlingsfahrt 春の旅(J.v. Eichendorff)

Abends am Strand 浜辺の夕暮れ(H. Heine)

*

シューベルト

歌曲集「白鳥の詩」D 957より

Aus: “Schwanengesang D 957”

Sechs Gedichte von Heinrich Heine

Das Fischermädchen 漁夫の娘

Am Meer 海辺で

Die Stadt 都会

Der Doppelgänger 影法師

Ihr Bild 彼女の絵姿

Der Atlas アトラス

*

シューマン

歌曲集「詩人の恋」op.48

Dichterliebe op.48 (Heinrich Heine)



クリストフ・プレガルディエン
(テノール)
Christoph Pregardien, Tenor

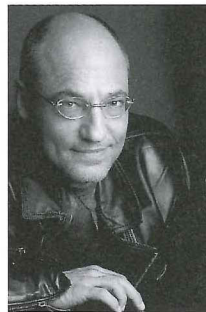
1956年ドイツ生まれ。1977年よりフランクフルト音楽大学、ミラノ、シュトゥットガルトで学ぶ。在学中にドイツ放送音楽コンクールに優勝。

以来、優れたリリック・テノールとして、バロック、古典、ロマン派のオペラ、オラトリオ、受難曲、リート の各分野で高く評価されている。レオンハルト、ブリュッヘン、コープマン、ヘレヴェッヘ、ガーディナー、アーノンクールといった名指揮者たちとの協演の他、リート歌手としても名演が多い。

日本でも、1992年〈「東京の夏」音楽祭〉〈モンテヴェルディ「ユリシーズの帰郷」〉主役をはじめとして、1998年〈マラー「大地の歌」(室内楽版)〉で白井光子と協演、2000年白井光子／ハルトムート・ヘルと〈ヴォルフ「イタリア歌曲集」〉協演、コープマン指揮ラ・プティットバンドと〈バッハ「マタイ受難曲」〉エヴァンゲリスト、2002年再び〈「東京の夏」音楽祭〉で〈「冬の旅」ツェンダー版／オリジナル版〉2夜連続出演などで多くの聴衆を魅了した。

最近では、2009年ミヒャエル・ゲースとの競演によるリートリサイタルで、一層深い音楽性と、彼ならではの時代性を踏まえた自由な歌唱を披露し、絶賛された。

CD録音も多く、フォルテピアノのアンドレアス・シュタイアー、ピアノのミヒャエル・ゲース等との協演、宗教曲のソリスト等、90枚を超えている。



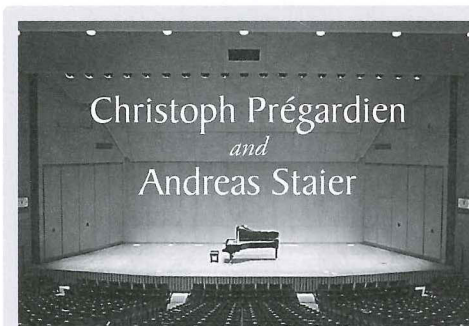
アンドレアス・シュタイアー
(フォルテピアノ)
Andreas Staier, Fortepiano

ドイツのゲッティンゲン生まれ。ハノーヴァーとアムステルダムでピアノとチェンバロを学び、1983年から86年までムジカ・アンティクァ・

ケルンのチェンバロ奏者として活躍した。その後ソロ活動に専念、フォルテピアノとチェンバロのスペシャリストとして国際的に活躍している。80年代初頭のデビュー当時は、チェンバロとフォルテピアノを弾くにもかかわらず、「バックハウスやケンプ以来の、ドイツ音楽を代弁するピアニスト」と賞され、彼の大きい才能が注目された。その後も真摯に自らの芸術を極め、今や「巨匠」への道を着実に歩む数少ない実力者として広く認められるところとなった。ソロ活動に加えて、リート伴奏、室内楽奏者としても、クリストフ・プレガルディエン、ペドロ・メメルスドルフ、ジャン＝ギャン・ケラス、ライナー・クスマウル等と定期的に共演している。また、オーケストラとの共演、ラ・ロック・ダンテロン、サント、モントルー、グラーツなど多くの音楽祭への参加など、幅広い活動を続けている。

CDはドイツ・ハルモニウムンディを中心に数多く録音、レコード・アカデミー賞をはじめ多くの賞を受賞している。

*やむを得ぬ事情により、曲目等に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承下さい。



“木のホール”
神奈川県立音楽堂で聴く

*

クリストフ・プレガルディエン
(テノール)

&

アンドレアス・シュタイアー
(フォルテピアノ)

木のホール 神奈川県立音楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
TEL.045-263-2567(代表)

- JR・市営地下鉄=桜木町駅から徒歩10分
- 京浜急行線=日ノ出町駅から徒歩13分
- みなとみらい線=みなとみらい駅から徒歩20分
- バス=横浜駅東口バスターミナル乗車
8, 26, 58, 89, 105, 110系統「紅葉坂」下車 徒歩7分
103系統「戸部1丁目」下車 徒歩5分

◎ホール駐車台数には限りがあります。出来るだけ公共の交通機関をご利用下さい。
◎指定管理者:公益財団法人 神奈川芸術文化財団

